

K-4: 11月8日(土) (16:40 ~ 17:40)

<p>タイトル</p>	<p>三陸鉄道 復旧・復興の取り組み</p>
<p>講演者</p>	<p>望月 正彦(もちづき まさひこ)氏</p>
<p>講師紹介</p>	<p>三陸鉄道株式会社 代表取締役社長</p> <p>昭和 27 年 岩手県花巻市出身 山形大学人文学部(法律)卒業</p>  <p>昭和 49 年 4 月 岩手県職員採用 県立教育センター主事          昭和 52 年 4 月 県教委事務局総務課主事          昭和 58 年 4 月 企画調整部総合交通対策室主事          昭和 59 年 4 月 農政部農政企画課主任          昭和 61 年 4 月 総務部人事課行政管理主査          平成元年 4 月 環境保健部自然保護課環境保全係長          平成 4 年 4 月 総務部国際交流課国際交流係長          平成 6 年 4 月 総務部秘書課主任秘書主査          平成 9 年 4 月 企画振興部企画調整課課長補佐(企画調整)          平成 10 年 4 月 総務部人事課課長補佐(行政管理)          平成 11 年 4 月 企画振興部新幹線並行在来線対策監          平成 14 年 4 月 商工労働観光部企業立地推進課長          平成 15 年 7 月 久慈市助役          平成 18 年 4 月 地域振興部地域企画室長          平成 20 年 4 月 盛岡地方振興局長          平成 22 年 3 月 同上退職          平成 22 年 6 月より現職</p>
<p>概要</p>	<p>2011年3月11日に発生した東日本大震災。岩手県の沿岸部に路線を持つ三陸鉄道(略称:三鉄)も甚大な被害を受けた。</p> <p>震災直後、三鉄は宮古駅にあった車両内を災害対策本部にして対応を開始。震災から5日後の3月16日に久慈・陸中野田駅間(11.1Km)で運転を再開した。その後3月中に全線の三分の一に当たる北リアス線の一部 36.2Km まで運転区間を伸ばしていった。</p> <p>2011年11月、国の支援が決まり本格復旧工事に着手した。復旧工事は被災状況や工事の難易度に応じ一次～三次に分け、3年計画で行うこととした。工事は順調に進み、2012年4月には北リアス線田野畑・陸中野田駅間が、2013年4月には南リアス線盛・吉浜駅間が、そして本年4月には残る南リアス線吉浜・釜石駅間と北リアス線小本・田野畑駅間が復旧し、計画どおり全線で運行を再開することができた。</p> <p>全線復旧までの間、激減した運賃収入を補うため「被災地フロントライン研修」の実施、「復興祈願レール」の販売など様々な取り組みを行った。</p> <p>三鉄は全国から多くの支援、応援、協力を得て復活した。しかし課題は山積している。震災からの復興の遅れ、沿線人口の減少、モータリゼーションの進展などである。こうした課題にどのように対応するのか、復旧までの足取りとあわせて一大プロジェクトの奇跡と今後を紹介する。</p>